

第7回 阿賀野川大規模氾濫に関する減災対策協議会

参 考 資 料

<各機関の取組状況について>

項目	減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社	
	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期
1. ハード対策の主な取組																						
■洪水を河川内で安全に流す対策																						
・河道掘削 ・侵食対策 ・浸透対策 ・築堤	U,V	引き続き実施	洪水を安全に流すため・危機管理型のハード対策の推進	・洪水を安全に流すため及び危機管理型のハード対策を推進する	引き続き実施			・洪水を安全に流すためのハード対策を推進する。	引き続き実施													
				下里地区河道掘削工事中【R2.1引き続き工事予定】 「防災・減災・国土強靱化のための3カ年緊急対策」でH30年度より河道掘削(樹木伐採)、浸透対策実施	引き続き実施			【R3.1未現在】 ・阿賀野川の工事を実施(実施) ・支川は新井郷川(新潟)、福島潟(新発田・新潟)、駒林川(新発田)の工事を実施 ・阿賀野川の工事を実施(津川) ・H30年度より防災・減災・国土強靱化関係予算(緊急対策)等による河床掘削工事・伐木業務委託等を実施(新発田・新潟・新津・津川)	引き続き実施													
			防災拠点等整備の検討	・防災拠点等の整備を検討する	引き続き実施																	
				検討中【R3.1現在】	引き続き実施																	
■流出抑制対策(R1追加)																						
・ダムの高上げ、遊水地の整備(R1追加)			遊水地の整備、ダムの高上げ																			
■内水対策(R1追加)																						
・排水機能の配備(R1追加)			排水ポンプ場の整備等の、排水ポンプ車の整備	・排水ポンプ車の更新・増強 ・排水ポンプ車や照明車等の災害対策車輛・機器について、平常時から定期的な保守点検を行い、災害発生時の出動体制を確保	引き続き実施							雨水ポンプ場の整備の検討	引き続き検討					排水ポンプ車等の整備検討		既存排水機場の維持管理		
・調整池の整備 ・田んぼダムの活用(R1追加)			調整池等の整備									調整池、雨水貯留施設による浸水対策の実施	引き続き実施							既存箇所の維持管理		
			田んぼダムの整備・活用									田んぼダムの活用	引き続き実施									
■危機管理型ハード対策																						
・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	W	H28年度から順次整備	堤防天端の保護	・堤防天端の保護 ・堤防天端の保護についてH29年度完了	H28年度から順次整備 引き続き実施			・堤防天端の保護	H28年度以降検討 引き続き実施			【R3.1未現在】 ・福島潟で一部実施済(新発田) ・阿賀野川(白崎、吉津工区)、中ノ沢川(岡沢工区)を実施済(津川)										

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和3年1月段階の取組状況(進捗)※随時更新する。
 ※「課題の対応(A~W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

項目	減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社		
	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																							
①新技術を活用した水防資機材の検討及び配備	M.P.Q	H28年度から検討	水防資機材の確認・整備	・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施	引き続き実施				・水防資機材の配備状況の確認・整備	引き続き実施	河川管理者や消防団と連携し水防資機材の配備状況の確認や整備を行う。	H28年度から検討	・河川管理者と連携し水防資機材の配備状況の確認を実施する。	H28年度から検討	・河川管理者と連携を図り、配備状況の確認や整備を行う。	H28年度から検討	・河川管理者と町・消防本部・水防団等で資機材を確認する。	H28年度から検討	・河川管理者と町・消防本部・水防団等で資機材を確認する。	H28年度から検討			
				【R1.5.15】合同巡視時に実施	引き続き実施			・水防資機材の配備状況を5月~8月にかけて確認・補充を実施(新発田・新潟・新津・津川)	R2実施済、引き続き実施	・河川管理者と連携し阿賀野川重要水防箇所の巡視に合わせて水防資機材の配備状況の確認を行った。	引き続き実施	水防資機材の配備状況の確認・補充を実施。	引き続き実施	・出水期前に確認を行い、補充している。 ・地元町内会長からの申し出により、不足分を補充している。	引き続き実施	合同巡視時に実施済み。出水期前に土のう用砂を津川・上川地域に配備した。	引き続き実施	資機材を適切に、また迅速な水防活動が行えるよう、県との合同巡視時に点検した。【5月18日】	引き続き実施				
②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置	L.J	H28年度から順次整備	CCTVカメラ、簡易水位計・量水標の設置	・新技術(水のう等)を活用した資機材等の配備	H28年度から検討			・新技術を活用した水防資機材等の配備を検討する。	H28年度から検討			・JR羽越本線橋梁右岸部の水防活動時間が短縮できる資機材の検討を進める。	H28年度から検討	・H23水害の教訓として、市の倉庫や消防器具置場、町内会館等に配備済みで、新技術を活用した水防資機材等の配備を検討する。	H28年度から検討	・水防資機材の種類や数量を検討する。	H28年度から検討						
				【R1.5】阿賀野市の水防訓練への三角水のうの貸し出し 【R3.5】阿賀野川・早出川総合水防演習にて展示予定	引き続き実施			・水位計・量水標の設置 ・検討中(新発田・新潟・新津・津川)	引き続き検討			・水位計・量水標の設置 ・洪水危険箇所における河川カメラ設置	H28年度から検討			検討中。	引き続き実施	・出水期前に確認を行い、補充している。 ・地元町内会長からの申し出により、不足分を補充している。 ・新技術を活用した水防資機材等の配備については、検討中。	引き続き実施	検討中	引き続き検討	検討中	引き続き検討
③庁舎等の耐水対策(R1追加)			庁舎等の耐水対策	・簡易水位計の設置 ・CCTVカメラの設置	H28年度から順次運用に向けて調整中			・水位計・量水標の設置 ・洪水危険箇所における河川カメラ設置	H28年度から検討														
				・危機管理型水位計13基の設置済 ・簡易型カメラ4基の設置 【R2年度運用開始】 ・簡易型カメラ1基の追加設置予定【R3.1現在】				【R3.1未現在】 ・危機管理型水位計を18河川18箇所に設置済(新発田9・新潟2・新津2・津川5)設置済み。 ・簡易型カメラを8河川14箇所に設置済み。(新発田4・新潟1・新津1・津川8) ・柴倉川水系に新設の丸瀬雨量局、合川水位局(阿賀町 常浪川)をR1.6月に設置済(津川)	済 済 済 引き続き実施														
④災害拠点病院等の機能確保のための対策の実施状況を共有(R1追加)			災害拠点病院等の機能確保のための対策の実施状況を共有	出張所の耐水対策を検討中									・市役所本庁舎においては、屋上にも自家発電設備を設置するなど、水害時の対応を実施済み。	実施済み			・災害対策本部が設置される庁舎について、非常用電源の高さ対策を実施済み。					本庁舎(災害対策本部設置庁舎)浸水想定なし受水槽を上階に設置し、浸水時も生活用水として確保	
⑤排水機場の耐水化(R1追加)			排水機場の耐水化	完了している									排水機場更新のタイミングに合わせて耐水化を実施	更新時実施									

減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社							
項目	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期						
2. ソフト対策の主な取組 ①「安全な場所への確実な避難」に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組																											
■情報伝達、避難計画等に関する事項																											
①リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実(水位、気象情報、カメラ映像、ホットラインなど)(R1一部追加)	G,H,I,J	順次整備			川の防災情報システムの改良・スマートフォンを活用した情報発信	順次実施				・新潟県河川防災情報システムの改良及びスマートフォンの検討	引き続き検討																
					川の防災情報システムの改良・スマートフォンを活用した情報発信	済			【H28.3】よりスマートフォン向け機能を追加し、運用開始。HPにて公表済み ・Twitterを用いた情報提供を運用中【R3.1現在】			【H29.4】スマートフォン向け画面を公開(河管課) 【R1.6】河川防災情報システムの改良を実施(河管課)	済														
					信濃川下流域情報共有プラットフォームの構築	順次実施			・信濃川下流域との防災情報を一元化し、共有・閲覧できるシステム(プラットフォーム)を構築 平成29年度にHPで公表済	済																	
					水位・気象情報等の情報発信	順次実施			・プッシュ型の洪水予報等の情報発信	順次実施			・気象警報・注意報を発生し、現象ごとに警戒期間、注意期間、ピーク時間帯、雨量などの予想最大値を周知	引き続き実施			・隣県水位局の情報を掲載 ・洪水時における水位の緊急速報メールの検討	引き続き検討									
						済			国土交通省発信で携帯電話事業者提供の「緊急速報メール」サービスを平成29年5月より開始。	【R03.01現在】 ・危険度を色分けした時系列表」を提供中	引き続き実施		【H29.3】隣県水位局の情報を新潟県河川防災情報システムで公開(河管課) 【R1.6】危機管理型水位計の水位情報を河川防災情報システムにて公開(河管課) 【R1.7】河川情報のプッシュ型配信サービスを開始(河管課) 【R2.7月現在】 ・簡易型河川監視カメラの画像情報を河川防災情報システムにて公開(河管課)	済 済 済 引き続き実施													
					カメラ映像の情報提供(R1追加)				CCTVカメラの画像をHP上で公開済。	済															・必要に応じて適宜実施。		
					自治体への情報伝達(ホットライン)				・現在ホットラインにWEB会議を活用できないか検討中【R3.1現在】			・必要に応じて、自治体に情報伝達(ホットライン)を実施	引き続き実施														
					防災アプリ・ラジオ・メールの更なる普及のための周知・広報										・危険箇所の範囲や避難所の位置を分かりやすく表示する「にいがた防災アプリ」について、更なる普及のため周知・広報を実施する。 ・緊急告知FMラジオの購入費助成制度について、更なる普及のため周知・広報を実施する。	H28年度から実施		・登録制である阿賀野市安全安心メールについて、更なる普及のため周知・広報を実施する。	H28年度から検討		・携帯電話やパソコンのメールを利用した五泉あんしんメールについて、更なる普及のため周知・広報を実施する。	引き続き実施					
															・「にいがた防災アプリ」について、市民の利便性向上のため、同アプリの令和元年度末での廃止と新潟県の防災アプリへ移行を促す情報を市HPに掲載し市民に周知。 ・緊急告知FMラジオの購入費助成制度について、市HP及び市報にいがた掲載し市民に周知。	引き続き実施	広報紙やホームページへの記事掲載、防災塾等におけるチラシの配布による周知を実施。	引き続き実施	出水期前の市広報誌での周知に加え、ホームページ、出前講座等での周知を実施。	引き続き実施					新発田あんしんメールの登録者増加のため、周知・広報を実施。	引き続き実施	
					津波用同報無線の										・津波用として設置してある同報無線について河川洪水用としても活用するよう、既存設備の運用変更を行う。	H28年度から実施											

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和3年1月段階の取組状況(進捗)※随時更新する。
 ※「課題の対応(A~W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

項目	減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社			
	カテゴリ	課題 の 対応	目標 時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期		
②関係機関と連携した防災行動計画(タイムライン)の整備(R1追加)				活用								津波用として設置してある同報無線について河川洪水用としても活用するよう、既存設備の運用変更を行った。	H28年実施済。							津波用同報無線は設置していないが、J-ALERTと連動したサイレンを設置済み。	引き続き実施			
				ダム放流情報等の情報発信																	・TV電話(告知情報端末)を利用して洪水時のダム放流情報や水位情報等を分かりやすく伝える。 ・各自治体広報誌へのダム放流警報に関する説明を掲載	H28年度から検討	引き続き毎年実施	
				FMラジオの配備事業(R1追加)											H31.1から緊急告知FMラジオ配付事業を実施。	引き続き実施	—				津波浸水想定、土砂災害警戒区域付近住民へ貸与			
				Wi-Fiステーション整備(R1追加)																		検討中		
				降雨流出氾濫モデルの改良																		・様々な災害リスク情報を「蓄積」、「共有」し、的確な避難行動につながるよう、降雨流出氾濫モデル(RRIモデル)を改良、発展させる。 阿賀町水災害情報共有システム(ARIS)の活用。	H28年度から検討 引き続き実施	
				タイムラインの整備・改善・支援	・出水後におけるタイムラインの検証と改善 ・必要に応じて、水位情報等の提供など					関係機関の要請に応じて、気象部門の助言、作成支援を実施。	順次実施													
					・関係機関と連携した防災行動計画(タイムライン)の整備を検討					【R03.01現在】R02年度の支援要請実績はなかったが、今後も適宜支援を実施。	引き続き実施				阿賀野川(国管理区間)についてはタイムライン整備済み。改善については検討中。	引き続き実施							検討中	

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和3年1月段階の取組状況(進捗)※随時更新する。
 ※「課題の対応(A~W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

項目	減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社		
	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期
③避難勧告等の発令に 着目した防災 行動計画(タイム ライン)の整備及 び検証と改善	C		C	順次実施	タイムラインの整備・ 改善・支援	・出水後におけるタイムラインの検証と改善 ・必要に応じて、水位情報等の提供など	順次実施	北陸地整・県・市・町と 共同し、整備・改善を 支援	順次実施	・市町が作成するタイム ラインに必要な水位 情報等の提供など	順次実施	・ホットラインのタイミン グや庁内の体制などに ついて、タイムラインの 改善を実施する。	H28年 度から検 討	・協議会の中で検討す る避難計画(案)等をふ まえ改善を行う。	H29年 度から実 施	・早出川(国管理区間) は整備済み ・阿賀野川について は、タイムラインを策定 ・協議会の中で検討す る避難計画(案)等をふ まえ改善を行う ・河川管理者と連携を 図り、改善・整備を行 う。	H27年 度から順 次実 施	・タイムラインの策定	新潟 県か ら情 報提 供に 実施				
						【H28.5.27】洪水対応演 習時にタイムラインの たたき台作成 H29出水、R1出水、R2 出水において適宜自治 体に水位情報等提供	引き続き 実施	【R03.01現在】 【R02.7月】洪水警報の 危険度分布活用にも つれた地域防災計画の 改定支援を実施。 ・コロナ禍により、直接 訪問は見送ったが気象 台長による首長への電 話会談を実施。	引き続き 実施	【H29.6】早出川洪水浸 水想定区域図(L2)公表 (新津) 【H30.6】常浪川洪水浸 水想定区域図(L2)公表 (津川) 【R1.7】安野川洪水浸 水想定区域図(L2)公表 (新発田) 【R1.11.15】新谷川・姥 堂川洪水浸水想定区 域図(L2)公表(津川) 【R3.1未現在】 ・阿賀野川水系での浸 水想定区域図(L2)未 策定(新潟) ・新井郷川水系で洪水 浸水想定区域図(L2)を R3に作成予定(新発田)	済 済 済 済 引き続き 実施・ 検討	阿賀野川(国管理区 間)についてはタイムラ イン整備済み。 改善については検討 中。	引き続き 実施	早出川(国・県管理区 間)のタイムラインは整 備済み。	引き続き 実施	阿賀野川、常浪川のタ イムラインを整備済 み。阿賀野川のタイム ラインの改善を検討 中。	引き続き 検討	検討中 新発田市版マイタイム ラインを作成し市民へ 周知	引き続き 実施				
④想定最大 規模も含め た破堤点別 浸水想定区 域図、家屋 倒壊等氾濫 想定区域の 公表(浸水ナ ビ等による 公表)	D,E F		D,E F	H28年度 から 順次実 施	洪水浸水想定区域 図・家屋倒壊等氾濫 想定区域図の策定・ 公表	・阿賀野川洪水浸水想 定区域図の策定・公表 ・早出川洪水浸水想定 区域図の策定・公表 ・家屋倒壊等氾濫想定 区域図を作成し自治体 へ提供	H28年 度から実 施			想定最大規模も含めた 浸水想定区域図や家 屋倒壊等氾濫想定区 域等の公表を行う。	H28年 度以 降検 討												
						【H28.5】HPにて公表	済			【H29.6】早出川洪水浸 水想定区域図(L2)公 表(新津) 【H30.6】常浪川洪水浸 水想定区域図(L2)公 表(津川) 【R1.7】安野川洪水浸 水想定区域図(L2)公 表(新発田) 【R1.11.15】新谷川・姥 堂川洪水浸水想定区 域図(L2)公表(津川) 【R3.1未現在】 ・阿賀野川水系での浸 水想定区域図(L2)未 策定(新潟) ・新井郷川水系で洪水 浸水想定区域図(L2)を R3に作成予定(新発田)	済 済 済 済 引き続き 実施・ 検討												
					氾濫シミュレーション の公表	・想定最大規模降雨の 阿賀野川氾濫シミュ レーションの公表 ・想定最大規模降雨の 早出川氾濫シミュレ ーションの公表 平成29年より公表。 (浸水ナビ)	H28年 度から 実 施																

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和3年1月段階の取組状況(進捗)※随時更新する。
 ※「課題の対応(A~W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

項目	減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社				
	カテゴリ	課題の 対応	目標 時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期			
⑤立ち退き 避難が必要な 区域及び 避難方法の 検討	D,E F,K	H28年度 から 順次 実施	浸水想定区域の浸水深・水継続時間及び家屋倒壊危険区域の情報提供	・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の情報提供を行う。 【H28.5】HPにて公表	済	・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の情報提供を行う。 【H29.6】早出川洪水浸水想定区域図(L2)公表(新津) 【H30.6】常浪川洪水浸水想定区域図(L2)公表(津川) 【R1.7】安野川洪水浸水想定区域図(L2)公表(新発田) 【R1.11.15】新谷川・姥堂川洪水浸水想定区域図(L2)公表(津川) 【R3.1未現在】 ・阿賀野川水系での浸水想定区域図(L2)未策定(新潟) ・新井郷川水系で洪水浸水想定区域図(L2)をR3に作成予定(新発田)	H28年度以降検討	済	済	済	引き続き実施・検討														
			立ち退き避難が必要な区域・避難方法の検討									・家屋倒壊危険区域等より、立ち退き避難が必要な区域を検討する。 新潟県からの情報提供後から実施	H28年度以降検討	・浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域等より、立ち退き避難が必要な区域を検討する。 ・想定最大規模での浸水深により避難計画の見直し整理		・浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域等より、立ち退き避難が必要な区域を検討する。	H29年度以降検討	・浸水想定区域図等の公表後に立ち退き避難が必要な区域及び避難方法を検討する。	H29年度以降検討						
			垂直避難等、柔軟な避難方法の検討									・新潟県から情報提供後、家屋倒壊等氾濫想定区域を洪水ハザードマップに掲載し、全戸配布。	・H30年度実施済み	済	想定浸水深や家屋倒壊等氾濫想定区域を表示した洪水ハザードマップを作成。H30.5に全世帯へ配布。		・家屋倒壊等氾濫想定区域等を表示したハザードマップ作成と全世帯への配布がH30.4で完了。 浸水深3m以上・家屋倒壊等氾濫想定区域については、早期立ち退き避難区域として指定し、ハザードマップへ記載した。	H29・30年度	想定最大規模降雨の洪水浸水想定区域を示した洪水ハザードマップを作成し、R2.7に全世帯へ配布。	引き続き実施	想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域も含めた新発田市ハザードマップの全戸配布及び、市民公開GISにて公開した。	H30完成			
			避難所ごとの浸水深・避難可否の確認									・阿賀野川流域において、家屋倒壊等氾濫想定区域内にある避難所について、避難所を開設しないこととした。(北区:1箇所 江南区2箇所 秋葉区1箇所)	・H31年度運用開始	引き続き実施	ハザードマップの説明の際に、垂直避難等、柔軟な避難方法について説明を実施。		・家屋倒壊等氾濫想定区域等を表示したハザードマップ作成と全世帯への配布がH30.4で完了。 浸水深3m以上・家屋倒壊等氾濫想定区域については、早期立ち退き避難区域として指定し、ハザードマップへ記載した。	H29・30年度							
			自主防災組織の育成・強化									・避難所ごとに水害時の浸水深や避難の可否について確認を行う。 ・避難所ごとに水害時の浸水深や避難の可否について確認後、新潟市洪水ハザードマップにおいて、避難所の評価を記載して全戸配布。	新潟県からの情報提供 ・H30年度に実施済み	引き続き実施	避難所ごとの想定浸水深を確認して、避難の可否を確認する。 H30.5に配布した洪水ハザードマップに、各避難所の洪水時の利用可能判定を掲載。ハザードマップの説明と併せて、利用可能判定についても説明を実施。	H28年度以降検討	避難所ごとの想定浸水深を確認して、避難の可否を確認する。	H30完成							

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和3年1月段階の取組状況(進捗)※随時更新する。
 ※「課題の対応(A~W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

項目	減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社		
	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	
⑥参加市・町による広域避難計画の策定及び支援	D,E	[計画規模]平成28年度から順次実施 [想定最大規模]平成29年度から順次実施	計画規模洪水・想定最大規模洪水に対する広域避難計画の検討・策定・支援	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	H28年度から順次実施	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	H28年度から順次実施	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・市町間の調整や運営上の課題への支援	引き続き実施	・広域避難の実現性について検討する。	H28年度から検討	・北陸地整、県、関係市町と連携し、計画規模洪水に対する広域避難計画を検討・策定する。	H28年度から検討	・北陸地整、県、関係市町と連携し、想定最大規模洪水に対する広域避難計画を検討・策定する。	H29年度から検討	・北陸地整、県、関係市町と連携し、想定最大規模洪水に対する広域避難計画を検討・策定する。	H29年度から検討			育成・強化のため、職員派遣を行い、講座を実施。	引き続き実施		
				・作成に必要な情報を提供	引き続き実施	【R03.01現在】R02年度支援要請実績はないが要請に応じて、適宜支援を実施。	引き続き実施	【R3.1未現在】H27.11及びH28.6に広域避難検討地区の抽出や課題・対応について意見交換会を実施(河管課)	引き続き実施	引き続き広域避難の実現性について検討する。	引き続き検討	検討中。	引き続き検討	検討中	引き続き検討	引き続き検討	検討中	引き続き検討	検討中	引き続き実施			
⑦広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知	D,E,F	H28年度から順次実施	洪水ハザードマップの改良・周知	・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H28年度から実施					・新たな浸水想定区域に対応した洪水ハザードマップへの改良と、出前講座などを活用した周知・広報を実施する。	新潟県からの情報提供後に実施	・洪水ハザードマップの更新整備を図り、自治会等に配付、説明会の開催	H29年度から順次実施	・ハザードマップの見直しを行い、全戸配布により周知する。	H29年度以降検討	・洪水ハザードマップの見直しを行い、全戸配布により周知する。	H29年度以降検討						
				・【H28.8】想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域データを更新 ・【H28.6】検索ツール等改良いずれもHPにて公表	引き続き実施			・新潟市総合ハザードマップ作成・全戸配布(H31年3月末)を行い、市民に周知。	H30年度に実施済み	想定最大規模の浸水想定区域を表示した洪水ハザードマップをH30.5に全世帯へ配布。防災塾で説明を実施。	引き続き実施	・想定最大規模降雨の洪水浸水想定区域を表示したハザードマップ作成と全世帯への配布がH30.4で完了。	H29・30年度	阿賀町洪水ハザードマップ作成・全世帯へ配布(R2.7月上旬)町民に周知。	R2年度実施	想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域も含めた新発田市ハザードマップの全戸配布及び、市民公開GISにて公開した。	H30完成。						
⑧水位周知河川の見直し及び追加指定の検討(R1追加)			水位周知河川の見直し及び追加指定の検討							【R3.1未現在】安野川(金田町水位局・大室水位局)を令和2年度より水位周知河川とした(新発田)		安野川が水位周知河川に指定(R2年度)。	済	・関係機関と引き続き協議。									
⑨水位予測の検討及び精度の向上	B,M	H28年度から検討	水位予測の検討及び精度の向上	・現状予測期間(~3時間) ・更に数時間(4~6時間程度)先も含め水位予測の精度向上の検討・システム改良を行う。 ・予測手法が改善される、水害リスクラインにおける水位予測を検討中	H28年度から検討			・上流水位局による下流水位予測の検討	H28年度から検討														
⑩気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善	J	H29年度	気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善	・警報等における危険度の色分け表示 ・「警報級の現象になる可能性」の情報提供 ・メッシュ情報の充実化	H29年度出水期から実施																		
				【R03.01現在】「危険度の色分け表示」、「警報級の可能性」、「危険度分布(メッシュ情報)」の提供中 【R02.5.28】危険度分布の改良、本川の増水に起因する内水氾濫(湛水型の内水氾濫)の危険度表示を追加。	H29年度出水期から実施																		

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和3年1月段階の取組状況(進捗)※随時更新する。
 ※「課題の対応(A~W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

項目	減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社			
	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	
		①流域雨量指数(洪水警報の危険度分布)を活用した水害危険性周知を検討(R1追加)			流域雨量指数(洪水警報の危険度分布)を活用した水害危険性周知を検討			・流域雨量指数(洪水警報の危険度分布)を活用した水害危険性周知を検討 ・協議会等で危険度分布の事例解説を実施し、普及啓発を図る。	実施中															
								【R03.01現在】市町村に対し、危険度分布による避難判断、地域防災計画への反映を支援。	引き続き実施					避難勧告等発令の判断において、流域雨量指数についても確認。	引き続き実施	・関係機関と引き続き協議。				検討中				
		⑫関係機関が連携した訓練の実施(R1追加)			洪水対応演習、水防訓練等の実施	・洪水対応演習の実施	・洪水対応演習の参加	実施中																
						・【R2.4.21】洪水対応演習実施 ・【R2.5.13】阿賀野川災害対策車等訓練 ・【R1】地域各種防災訓練に参加	・【R02.4.21】洪水対応演習実施	引き続き実施			洪水対応演習の実施	引き続き実施	関係機関が連携した洪水対応演習を実施(R2.4.21)。	引き続き実施	・【R2.4.21】関係機関が連携した洪水対応演習に参加。						関係機関と協力し開催(水防訓練)【R2実施せず】 市総合防災訓練実施(洪水対応訓練)【10月4日】			
		⑬市町村庁舎や災害拠点病院の施設関係者への情報伝達体制、方法について検討(R1追加)			水防情報の伝達	・情報伝達元の市町に対し、正確かつすみやかな予警報の伝達に努め、またホットライン等も含めた新たな取り組み等で協力して行く。 ・市町村とのホットライン等構築	順次実施	必要に応じて、洪水危険度に応じたホットラインを実施。	実施中															
								【R03.01現在】引き続き適宜実施。	引き続き実施					検討中。	引き続き実施	・市関係部署の水害に関する連絡体制は構築済み。			町関係部署の水害に関する連絡体制は構築済み			エリアメール、新発田あんしんメール、FMラジオを用いた情報伝達		

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和3年1月段階の取組状況(進捗)※随時更新する。
 ※「課題の対応(A~W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

項目	減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社					
	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期				
■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組	①自治会や地域住民が参加した水害に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施	A	順次毎年実施	重要水防箇所等の共同点検	順次毎年実施			・重要水防箇所等の共同点検を実施	H28年度から実施	・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施	・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施	・河川管理者と自治会や地域住民が参加した重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施	・河川管理者と地域住民等で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施	・河川管理者と自治会や地域住民が参加した重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施	・河川管理者と自治会や地域住民が参加した重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施	・河川管理者と自治会や地域住民が参加した重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施			
				沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を行った。 【R2.6.2、R2.6.3】	引き続き毎年実施			・【R3.1未現在】 ・阿賀野市(R2.5.21)、新発田市(R2.5.18)と共同で重要水防箇所等の点検を実施(新発田) ・五泉市とR2.6.3に共同で重要水防箇所等の点検を実施(新津) ・阿賀町とR2.6.8に共同で重要水防箇所等の点検を実施予定(津川)	引き続き毎年実施	・河川管理者と実施した阿賀野川重要水防箇所巡視に参加。	順次毎年実施	R2.6.2、3に河川管理者が主催した重要水防箇所等巡視に参加(消防本部)。	引き続き実施	・【R2.6.2】河川管理者が主催する重要水防箇所等の共同点検に参加。 ・【R2.6.3】河川管理者と自治体で重要水防箇所等の共同点検を実施。	引き続き実施	河川管理者が主催する重要水防箇所等の共同点検に参加した。	順次毎年実施	新発田地域振興局地域整備部と重要水防箇所合同巡視を実施。 【5月18日】	順次毎年実施							
	②小中学校等における水災害教育を実施	A	引き続き実施	出前講座(水害教育)の実施	引き続き実施			・市町の要請により、出前講座等を積極的にやっていく。 【R2.9.10】新潟市横越小学校で防災の出前講座を実施。 【R2.11.2】五泉北中学校で防災の出前講座を実施。 【R2.11.5】五泉東小学校で防災の出前講座を実施。 【R2.11.5】五泉南小学校で防災の出前講座を実施。	引き続き実施	・新潟県防災教育プログラム【洪水災害編】を作成済み。 ・市町の要請により、出前講座等を積極的にやっていく。 【R3.1未現在】 ・新潟市立新津第二小学校(R2.7.30)、新潟市立結小学校(R2.7.22)、五泉市立大蒲原小学校小学校(R2.11.25)に河川・水害・ダム等の出前講座を実施(新津) ・新発田市立加治川中学校(R2.12.10)に洪水災害防災の出前講座を実施(新発田) ・予定なし(津川) ・予定なし(新潟)	引き続き実施	・新潟県防災教育プログラムに基づき全小中学校の各学年で、防災教育(洪水災害)を実施する。 ・各校の特徴、地域特性に応じて新潟県防災教育プログラムの自校化を進める。 ・防災に関する体験学習を行う施設や出前講座などを行ってくれる組織と連携した防災学習を促進する。 ・学校と家庭や地域が連携した実践的な防災教育を実施。	H27年度から実施	・市内の小学高学年の水防災副教材を作成する。	H28年度から実施	・小中学校での水害教育を実施している。	引き続き実施	・小中学校で防災教育を実施する。	引き続き実施	・小中学校で防災教育を実施する。	引き続き実施	・小中学校で防災教育を実施する。	引き続き実施	・小中学校で防災教育を実施する。	引き続き実施	・小中学校で防災教育を実施する。
			教育委員会との連携・効果的な対応の検討					・教育委員会と連携し、効果的な対応を検討する。 【R03.01現在】 新潟地方気象台学校防災教育部会を設置済み、要請に応じ学校安全教室指導者研修会等に講師を派遣	H28年度から実施																	

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期

下段:令和3年1月段階の取組状況(進捗)※随時更新する。

※「課題の対応(A~W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社		
項目	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	
③	出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催	A	引き続き実施		説明会・見学会の実施	・市町の要請により、出前講座等を積極的に 行っていく。 引き 続き 実施		・市町の要請により、出前講座等を積極的に 行っていく。 引き 続き 実施		・出前講座等を活用し、水防災等に関する説明を実施 引き 続き 実施	新潟県からの情報提供後に検討	・ハザードマップ作成の際に説明会を実施 H29年度 から 実施	・ハザードマップ作成の際に説明会を実施 H29年度 以降 実施	・ハザードマップ作成の際に説明会を実施 H29年度 以降 実施	・ハザードマップ作成の際に説明会を実施 H29年度 以降 実施	・ハザードマップ作成の際に説明会を実施 H29年度 以降 実施	・ハザードマップ作成の際に説明会を実施 H29年度 以降 実施	・ハザードマップ作成の際に説明会を実施 H29年度 以降 実施	・ハザードマップ作成の際に説明会を実施 H29年度 以降 実施	・ハザードマップ作成の際に説明会を実施 H29年度 以降 実施	・ハザードマップ作成の際に説明会を実施 H29年度 以降 実施	・ハザードマップ作成の際に説明会を実施 H29年度 以降 実施
					要請があったコミュニティ協議会、自治会、市議会等へ説明会・見学会を実施 引き 続き 実施		【R3.1未現在】 ・消防学校職員へ水防災に関する講義を1回(12.4)実施(河管課) ・新潟市の小学校(早通小学校他2校)、五泉市の小学校(五泉南小学校他1校)の計5校に早出川ダムへの見学会時にダム・河川・災害等についての説明を実施(新津) 引き 続き 実施	・自主防災組織や住民向けに、出前講座や勉強会を実施。(啓発DVDや豪雨・台風動画の視聴、職員による講演など) 引き 続き 実施	阿賀野川洪水時の浸水想定区域の自治会等に対し、防災塾(防災講座・訓練)を実施。 引き 続き 実施	・新しいハザードマップ作成後、計4回の住民説明会を実施。(H30年度) ・その他、計8回(246人)出前講座等を実施。【R3.1現在】 引き 続き 実施	洪水時の浸水想定区域の行政区に対し、事前に概要を説明。 引き 続き 実施	自主防災組織へ出前講座を実施。(ハザードマップ等の説明) 引き 続き 実施	・津川地区振興事務所との情報交換会を実施。【R1.9.12】 ※R2年度コロナ感染拡大防止のため中止 ・ダム見学会を通じてダム操作等に関する説明を実施。 引き 続き 実施									
④	まるごとまちごとハザードマップを整備	D,F I	順次実施		関係機関との連携・効果的な対応の検討	・関係機関と連携し、効果的な対応を検討する。 H28年度 から 実施																
					洪水ハザードマップの検討・整備支援	・市町が作成するまるごとまちごとハザードマップへの情報提供 順次 実施	・ハザードマップの基礎資料となる浸水想定区域図の作成と公表 引き 続き 実施	・下里自治会で取組みを実施 H28年度 から 実施	・ハザードマップの見直しの際に検討する。 H29年度 以降 実施	【H29.3】阿賀野市下里地区にハザードマップ整備。 【H30.3】法柳、深堀、京ヶ島及び下里の4自治会で設置 【R1.6、R1.7】窪川原、粕島の2自治会で設置 【R2.8、R2.11】小浮新田、新保、久保、嘉瀬島の4自治会で設置 引き 続き 実施	【H29.6】早出川洪水浸水想定区域図(L2)公表(新津) 【H30.6】常浪川洪水浸水想定区域図(L2)公表(津川) 【R1.7】安野川洪水浸水想定区域図(L2)公表(新発田) 【R1.11.15】新谷川・姥堂川洪水浸水想定区域図(L2)公表(津川) 【R3.1未現在】 ・阿賀野川水系での浸水想定区域図(L2)未策定(新潟) ・新井郷川水系で洪水浸水想定区域図(L2)をR3に作成予定 引き 続き 実施・ 検討	H28年度からまるごとまちごとハザードマップを設置。 R1年度からは、電柱への洪水ハザードマークの取付けを実施。 R2年度は5自治会に設置。 引き 続き 実施	検討中 引き 続き 検討									

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和3年1月段階の取組状況(進捗)※随時更新する。
 ※「課題の対応(A~W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

項目	減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社						
	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期				
⑤効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料(浸水実績含む)を作成・配布	H	H	順次実施	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H28年度から実施	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H28年度から実施	・洪水時の情報収集や避難の判断基準等を一般住民に理解してもらえる家庭向けのチラシを作成し、ホームページで公表 ・チラシを市町村や県地域整備部へ配布	引き続き実施	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	新潟県からの情報提供後に検討	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H29年度から検討	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H29年度から検討	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H29年度から検討	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H29年度から検討							
					水防災に関するパンフレットを作成、記者発表、HPでの公表、市役所等へ配布(一般配布用)を実施	引き続き実施	【R03.01現在】水防災に関する防災気象情報の資料を作成し、出前講座等で使用 ・大雨に対する備えを記したパンフレットを発行し、必要に応じて配布実施	引き続き実施	【R3.1未現在】 ・H28年度から継続的にクリアファイル「洪水から命を守る」をほぼ配布済(新発田・新潟・新津・津川) ・洪水時の避難に役立つ情報をまとめた地域版洪水対応ポケットブックを作成(新津) ・出前講座・ダムへの見学者・R3年度阿賀野川・早出川総合水防演習時等で配布する「阿賀野川水系早出川洪水浸水想定区域図」や河川に関する情報についてを記載したクリアファイルをR2.2月に作成(新津)	引き続き実施	・河川管理者が作成した水防災に関するパンフレットを危機管理防災局及び区役所の窓口に設置し、市民へ配布。	引き続き実施	パンフレットを窓口に設置。	引き続き実施	随時広報紙及び市主催のイベント等において防災啓発を実施。	引き続き実施	水防に関するパンフレットを窓口へ設置。	引き続き実施	振興局作成の水防に関するパンフレットを窓口へ設置。	引き続き実施							
⑥住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実	K	K	順次実施	自主防災のあり方・役割の(再)啓発						・住民の防災意識を高めるための研修を実施	引き続き実施	・自主防災のあり方、役割の(再)啓発を実施		・自主防災のあり方、役割の(再)啓発を実施	H28年度から順次実施	・自主防災のあり方、役割の(再)啓発を実施	H28年度から順次実施	自主防災組織の設立、防災訓練の呼びかけ、実施による地域防災力の向上を図った。	引き続き実施	自主防災組織設立後、資器材整備や活動等に対し補助金を支給。 自主防災組織や住民へ向け出前講座の実施。							
				実践的な研修・訓練の実施						・自主防災組織や住民向けに、出前講座や勉強会を実施。(啓発DVDや豪雨・台風動画の視聴、職員による講演など)	引き続き実施	住民の防災意識・地域の防災力を向上させるため、防災塾(講座・訓練)を実施。	引き続き実施	・自主防災組織設立後、資器材整備や活動等に対し補助金を支給。 ・各所で出前講座を実施。 ・市より希望する団体へ啓発DVDや資料等の貸し出しや配布を行った。	引き続き実施	・自主防災組織の設立、防災訓練の実施	H28年度から順次実施	・実際の災害時に機能するよう実践的な研修・訓練の実施	H28年度から順次実施	・実際の災害時に機能するよう実践的な研修・訓練の実施	H28年度から順次実施	・実際の災害時に機能するよう実践的な研修・訓練の実施	H28年度から順次実施				
				自主防災組織の設立支援・防災士の養成						・自主防災組織の結成率の向上を図る。	引き続き実施	・自主防災組織の要となる防災士の養成	H28年度から順次実施	・自主防災組織率が低いと、引き続き設立の支援を行う。	H28年度から順次実施												
				自治体の避難情報を活用した住民参加型の避難訓練						要請に応じて、気象部門の訓練支援を実施	適宜実施	自主防災組織や消防団など住民向けに出前講座や勉強会を実施。	引き続き実施	地域防災力を高める一環として、避難行動要支援者に対する避難支援の取組みを推進するため、避難支援セミナーを実施(R2.11.21)。	引き続き実施	・引き続き支援を行う。 ・新潟県と共催で、町内会関係者等を対象とした自主防災シンポジウムをR2.1.25に実施。	引き続き実施										
						【R03.01現在】R02年度支援要請実績はないが要請に応じて、適宜支援を実施。	引き続き実施				自治体の避難情報を活用し、小学校区単位の地域防災訓練や自治会単位の防災訓練を実施。	引き続き実施	・避難情報を活用した総合防災訓練をR1.6.9に実施。				検討中										

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和3年1月段階の取組状況(進捗)※随時更新する。
 ※「課題の対応(A~W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

項目	減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社						
	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期				
⑦関係機関が連携して、自治体の避難情報、河川やダム等の防災情報等を活用した住民参加型の避難訓練や、避難場所への避難訓練の実施(R1追加)					河川の防災情報を活用した住民参加型の避難訓練			要請に応じて、気象部門の訓練支援を実施	適宜実施																		
							【R03.01現在】R02年度支援要請実績はないが要請に応じて、適宜支援を実施。	引き続き実施							検討中。	引き続き実施					検討中						
					ダムの防災情報を活用した住民参加型の避難訓練			要請に応じて、気象部門の訓練支援を実施	適宜実施																		
							【R03.01現在】R02年度支援要請実績はないが要請に応じて、適宜支援を実施。	引き続き実施																			
					その他の防災情報を活用した住民参加型の避難訓練			要請に応じて、気象部門の訓練支援を実施	適宜実施																		
							要請に応じて、気象部門の訓練支援を実施	適宜実施																			
					避難場所への避難訓練			【R03.01現在】R02年度支援要請実績はないが要請に応じて、適宜支援を実施。	引き続き実施					自治会単位の防災訓練において、避難場所への避難訓練を実施	引き続き実施	小学校校区単位の防災訓練や自治会単位の防災訓練において、避難場所への避難訓練を実施。	引き続き実施	・避難所への避難訓練を含めた総合防災訓練をR1.6.9に実施。			行政区単位で避難場所への避難訓練を実施。		地域住民が参加した避難場所への避難訓練実施【10月4日】				

項目	減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社				
	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期			
2. ソフト対策の主な取組 ②氾濫被害の軽減や避難時間確保のための水防や流域対策の取組																									
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組																									
①水防団等への連絡体制の確立と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施	N	引き続き毎年実施	出水時連絡体制の確認	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行う。 【R2.5.20】水防連絡会にて確認	引き続き毎年実施			・出水時における連絡体制の確認 【R2.5.20】水防連絡会にて確認(新発田・新潟・新津・津川)	引き続き毎年実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行う。	引き続き毎年実施	・河川管理者と市、消防本部、水防団の連絡体制を確認する。	引き続き毎年実施	・水防連絡会で連絡体制を確認する。	引き続き毎年実施	・水防連絡会で連絡体制を確認する。 ・水防団への連絡網を確認する。	引き続き毎年実施	・水防連絡会にて確認	引き続き毎年実施	・水防連絡会にて確認	引き続き毎年実施	・出水期間前の「阿賀野川洪水対策連絡協議会」開催による連絡体制の確認 【R2.5.27】	引き続き毎年実施		
			情報伝達訓練の実施・参加・支援	県・市・町と共同で情報伝達訓練を実施する。 【R2.4.21】洪水対応演習を実施	引き続き毎年実施	・情報伝達訓練への支援 【R2.4.21】洪水対応演習を実施	引き続き毎年実施	・情報伝達訓練の実施 【R2.4.21】洪水対応演習を実施(新発田・新潟・新津・津川)	引き続き毎年実施	・河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する	引き続き毎年実施	・河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する	引き続き毎年実施	・河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する	引き続き毎年実施	・河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する	引き続き毎年実施	・河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する	引き続き毎年実施	・河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する	引き続き毎年実施	・河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する	引き続き毎年実施	・河川管理者が実施する実践的な訓練に参加 ・全国ダム管理演習を通じての情報伝達訓練の実施 【R2.4.21】	引き続き毎年実施
②自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所等の合同巡視の実施	LMN	引き続き毎年実施	重要水防箇所の合同巡視	・重要水防箇所等の合同巡視を実施 新型コロナウイルス拡大防止のため規模を縮小して、自治体関係機関と共同で重要水防箇所等の点検を行った。 【R2.6.2、R2.6.3】	引き続き毎年実施		・出水期前に市町村や水防団等と重要水防箇所等の合同巡視を実施 【R2.6.2~6.3】 ・阿賀野川河川事務所、沿川市町、東北電力と共同で重要水防箇所、および各機関管理の水防倉庫の備蓄資材等の確認を実施(新発田・新潟・新津・津川)	引き続き毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇所等の合同巡視を実施	引き続き毎年実施	・河川管理者と実施した阿賀野川重要水防箇所の合同巡視に参加	引き続き毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇所等の合同巡視を実施	引き続き毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇所等の合同巡視を実施	引き続き毎年実施	・河川管理者が主催する重要水防箇所の合同巡視に参加 【R2.6.2】河川管理者が主催する重要水防箇所等の共同点検に参加。 【R2.6.3】河川管理者と自治体で重要水防箇所の共同点検を実施。	引き続き毎年実施	・河川管理者が行う情報伝達訓練に参加	引き続き毎年実施	・河川管理者が行う情報伝達訓練に参加	引き続き毎年実施	・重要水防箇所の点検・巡視への参加 阿賀野川重要水防箇所等の巡視に参加【満願寺管内 R1.5.15 2名】※R2年度コロナ感染拡大防止のため欠席	引き続き毎年実施	
			水防団間での連携、協力に関する検討、調整(R1追加)											検討中。	引き続き実施	・出水期前に水防団を集めて連絡体制等の確認を実施。							無線、消防団メールを活用した連絡体制の強化		
④毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施	P,Q	引き続き毎年実施	出水期前の水防訓練の実施・参加・支援	・水防管理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援等を行う。 【H30.8.27】古川樋門で新潟県、阿賀野市と共同で災害対策車両の訓練を実施。 各自自治体の水防訓練に参加。 【R1.5.9】太田川排水機場で排水ポンプ車の実働訓練を実施 【R2.5.13】太田川排水機場で阿賀野川災害対策車等訓練を実施	引き続き毎年実施	・関係機関等の要請により、訓練への支援 【R03.01現在】要請に応じ適宜支援	引き続き実施	・水防管理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援等を行う。 【R3.1末現在】 ・流域市町の開催する水防訓練に例年参加するが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策により不参加。 ・R3年度阿賀野川・早出川総合水防演習の開催に向けた会議へ参加 運営委員会・幹事会(河管課・新発田・新潟・新津・津川) 水防・救難救助・地域防災部会(新津)	引き続き毎年実施	・毎年、出水期前に水防訓練を実施 ・毎年行っている水防訓練の内容を見直し、実働水防訓練を実施	引き続き毎年実施	・毎年、出水期前に水防訓練を実施 ・毎年行っている水防訓練の内容を見直し、実働水防訓練を実施	引き続き毎年実施	・毎年、出水期前に水防訓練を実施 ・水防訓練、防災訓練の内容を検討する。	引き続き毎年実施	・毎年、出水期前に水防訓練を実施 ・毎年行っている水防訓練の内容を見直し、実働水防訓練を検討	引き続き毎年実施	・毎年、出水期前に水防訓練を実施 ・毎年行っている水防訓練の内容を見直し、実働水防訓練を検討 コロナの影響により訓練未実施。	引き続き毎年実施	・毎年、出水期前に水防訓練を実施 ・毎年行っている水防訓練の内容を見直し、実働水防訓練を検討	引き続き毎年実施	・毎年、出水期前に水防訓練を実施 ・毎年行っている水防訓練の内容を見直し、実働水防訓練を検討	引き続き毎年実施	加治川水防工法演習に参加【R2実施せず】	引き続き実施

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和3年1月段階の取組状況(進捗)※随時更新する。
 ※「課題の対応(A~W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

項目	減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社		
	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期
	⑤水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	O,Q	引き続き実施	水防団員の募集促進																			
	⑥洪水に対するリスクが特に高いJR羽越本線橋梁右岸部の水防活動に着目したタイムラインの整備	U	H28年度	タイムラインの整備・支援	・堤防が著しく低いJR羽越本線橋梁右岸部の水防に関して、毎年、関係機関等との連絡体制の確認 ・タイムライン作成に必要な水位情報等の提供	H28年度から実施																	
JR・阿賀野市と現地で連絡体制を確認【H30】 【R1.10】台風19号出水時、水防対応 【R2.5.29】覚書締結					引き続き実施																		
⑦国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	P	引き続き実施	水防技術講習会への参加	・水防技術講習会に参加	引き続き実施																		
				水防技術講習会に参加	引き続き実施																		
⑧大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施	R	H28年度から検討	復旧活動の拠点等配置計画の検討	・復旧活動の拠点等配置計画を検討	H28年度から検討																		
				検討中【R3.1現在】	引き続き実施																		

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和3年1月段階の取組状況(進捗)※随時更新する。
 ※「課題の対応(A~W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

項目	減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社		
	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期
■流域対策に関する取組(R1追加)	①平成16年7月、同23年7月を上回る豪雨に襲われても壊滅的な被害を招くことのないよう、新たな治水対策の検討を実施				平成16年7月、同23年7月を上回る豪雨に襲われても壊滅的な被害を招くことのないよう、新たな治水対策の検討	・新たな治水対策の検討を実施	引き続き実施																
	②流域における氾濫被害軽減に向けた対策の検討を実施(R1追加)				外水氾濫の被害軽減に向けた対策の検討	・外水氾濫の被害軽減に向けた対策の検討を実施	H28年度から引き続き実施							検討中。	引き続き実施	・ハザードマップに家屋倒壊等氾濫想定区域など、早期立退き避難区域を設定・明示。							県へ水位計、簡易カメラ設置要望
	③浸水被害軽減地区の指定のための情報提供及び複数市町村に影響が想定される場合の共有、連携(R1追加)				水被害軽減地区の指定のための情報提供及び複数市町村に影響が想定される場合の共有	浸水被害軽減地区の指定に参考となる情報の市町への提供 浸水被害軽減地区の検討を実施	順次実施							検討中。	引き続き実施								
■要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組																							
①要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援を実施(R1一部追加)	K	H28年度から順次実施	避難計画策定の推進	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の技術的な助言を行う ・協議会等において要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成状況を共有	引き続き実施				・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の技術的な助言を行う	引き続き実施	・要配慮者利用施設について、説明会の実施やお知らせの送付などにより避難計画策定の推進を行う。	H28年度から実施	・想定最大規模での浸水深により避難計画の見直し整理	H28年度から順次実施	・要配慮者施設における避難計画策定の推進を行う。	H28年度から実施	・要配慮者利用施設における計画策定の推進を行う。	H28年度から実施					
			避難確保計画作成状況									・【R3.1未現在】 ・施設管理者に対して水害時の避難に役立つ情報提供(チラシ配布)を行った(R2.10) ・市町村に対して、計画の作成状況の調査を実施し、関係機関と共有した(計画策定済み施設数:1,971/2,568(76.7%)R2.10.31時点)(河管課)	引き続き実施	・要配慮者利用施設へ避難確保計画策定の依頼を実施【H30年6月~】 ・未提出の施設に対して、提出を促す。	引き続き推進	要配慮者施設に対し、避難確保計画の策定を促進。 相談を受けた施設には対応済み。	引き続き実施	・要配慮者利用施設に対し必要な情報提供を行い、避難計画策定を促す。	引き続き実施	相談を受けた施設は対応済み。引き続き計画策定を促す。	引き続き実施	要配慮者利用施設に対し周知を進め、未策定施設へ作成を呼びかけ。	引き続き実施
			要配慮者利用施設における避難訓練の支援										提出件数923件 対象施設1,238件【R2年3月末】	引き続き実施	一部の施設において避難確保計画作成済み。	引き続き実施	・【R3.1現在】28/46施設作成済み						
②大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	I	H28年度から実施	大規模工場等への浸水リスクの説明・水害対策等の啓発活動	・大規模工場等への浸水リスクの説明や水害対策など技術的な助言を行う ・自治体、施設管理者等からの要請に基づき、技術的な助言等を行う	引き続き実施							・大規模工場へ浸水リスクの説明や水害対策等の啓発活動を行う。	H28年度から実施										

項目	減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社			
	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	
2. ソフト対策の主な取組 ③一刻も早く社会・経済活動等を回復させるための排水活動や協働の取組																								
■ 救援・救助活動の効率化に関する取組																								
	①大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施	E.S		H28年度から検討	広域支援拠点等の検討・支援	・広域支援拠点等の検討支援 検討を実施	H28年度から検討 引き続き実施			・広域支援拠点等の検討支援 【R3.1未現在】 検討中(河管課)	H28年度から実施 引き続き検討			・広域支援拠点等の配置等を検討 検討中。	H29年度から検討 引き続き検討	・広域支援拠点等の配置等を検討 検討中	H28年度から検討 引き続き検討	・広域支援拠点等の配置等を検討 検討中	H28年度から検討 引き続き実施	検討中		引き続き実施		
■ 排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施																								
	①大規模水害を想定した阿賀野川排水計画(案)の検討を実施	S.T		H28年度から検討	排水計画の検討	・排水機場、樋門、排水路等の情報を踏まえ排水ポンプ車の適切な配置計画などを検討 L1・R1ブロックの排水計画(案)の検討を実施 手引きに基づき、L1.R1ブロック見直し中。 R2.R3ブロックの検討を実施中【R3.1現在】	H28年度から検討 引き続き実施			・排水ポンプ車に関する以下の情報の確認及び情報共有 ①排水ポンプ車想定箇所リスト ②浸水常習箇所リスト ③排水ポンプ車想定箇所カルテ ④排水ポンプ車想定箇所図 【R2.5.20】 水防連絡会にて情報を確認(新発田・新潟・津川)	引き続き毎年実施 引き続き実施	検討中	引き続き検討	H30年度に、国が古川樋門に堤防乗り越し管を、県と市が排水ポンプ格納施設を設置。	済	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定 検討中	H29年度から検討 引き続き検討	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定 引き続き検討	H29年度から検討 引き続き検討	・排水ポンプの設置箇所の選定 引き続き検討	H28年度から検討 引き続き実施			
	②排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	T		引き続き毎年実施	出水時連絡体制の確認・整備	・毎年、出水期前に県・市・町と連携して連絡体制の整備を行い、情報共有を図る。 【H30.8.27】古川樋門で新潟県、阿賀野市と共同で災害対策車両の訓練を実施。 【R1.5.9】太田川排水機場で排水ポンプ車の実働訓練を実施 【R2.5.13】太田川排水機場で阿賀野川災害対策車等訓練を実施	引き続き毎年実施 引き続き毎年実施			・連絡体制の確認 【R3.1未現在】 ・整備局へR2.6.10に連絡体制の確認及び実働訓練の協力依頼(河管課)・阿賀野川河川事務所、阿賀町職員と合同で重要箇所、要請時の排水ポンプ車の配置箇所確認(津川)	引き続き毎年実施 引き続き毎年実施・参加	引き続き毎年実施	・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の確認を行う。 ・洪水対応演習にて排水ポンプ車出動要請の連絡体制の確認を行った。	引き続き毎年実施 引き続き毎年実施	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行い毎年確認する。 排水ポンプ出動要請時の連絡体制を確認。	引き続き毎年実施 引き続き実施	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行い毎年確認する。 ・排水ポンプ車出動要請時の連絡体制を確認。	引き続き毎年実施 引き続き毎年実施	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行い毎年確認する。 排水ポンプ出動要請時の連絡体制を確認。	引き続き毎年実施 引き続き毎年実施				
	③関係機関が連携した排水実働訓練の実施	U		順次実施	排水実働訓練・水防管理団体が行う水防訓練への参加	・実践的な操作訓練や排水計画に基づく排水訓練の検討及び実施 【H30.8.27】古川樋門で新潟県、阿賀野市と共同で災害対策車両の訓練を実施。 【R1.5.9】太田川排水機場で排水ポンプ車の実働訓練を実施 【R2.5.13】太田川排水機場で阿賀野川災害対策車等訓練を実施	H28年度から実施 引き続き毎年実施			・排水ポンプ車の実働訓練の実施 【R2.5.13】 ・五泉市で阿賀野川河川事務所、阿賀野市、阿賀町と排水ポンプ車の実働訓練に参加(新発田)	引き続き毎年実施 引き続き実施	引き続き毎年実施	・水防訓練と合同で実施 ・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加を検討 河川管理者が行う操作訓練に参加する予定	H29年度から実施 引き続き毎年実施	・水防訓練と合同で実施 ・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加 新型コロナウイルス感染症により、阿賀野川災害対策車等訓練には不参加。	H28年度から実施 引き続き実施	・水防訓練と合同で実施を検討 ・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加 【R1.5】排水ポンプ車配備訓練の実施。	H29年度から実施 引き続き毎年実施	・水防訓練と合同で実施を検討 ・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加 今年度未実施。来年度以降実施予定。	引き続き毎年実施 引き続き実施				
	④内水排水ポンプの運転調整の検討(R1追加)				内水排水ポンプの運転調整基準及び方法の検討	・運転調整基準及び方法の検討 検討中	引き続き検討							運転調整基準及び方法を検討	引き続き検討	検討中。	引き続き実施							

